

令和5年度 第1回学校運営協議会（記録）

期日:令和5年7月4日（火）

10:00～11:30

場所：会議室

○授業参観 10:00～10:30

○学校運営協議会 10:30～11:30

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 学校運営協議会委員、本校職員紹介
- 4 会長、副会長選出
- 5 議事

(1) 協議

①令和5年度学校経営計画について（1～3頁）・・・・・・・・・・資料のとおり ※承認

説明〈学校から〉

学校経営方針（1頁）令和4年度第2回学校運営協議会（令和5年2月）、職員へは4月職員会議において及び保護者には、5月PTA総会（簡略版）において提示している。

2月に〈A委員〉からコミュニティとの関わりについてご助言をいただいた。地域（場所）でのコミュニティとあるテーマをもったコミュニティがあると考えている。今年度、高校野球のプラカード製作は、高野連（盛岡工業高校）よりお話いただいて県内支援学校12校に声をかけ作成した。プラカードというテーマでコミュニティに貢献することができたと感じている。他にも花壇整備、リース展、飯岡地区のエスペロの会、飯岡こども園積み木交流等とのつながりを活用していきたい。

機会の創出・気概の涵養について、今まであるものへの気づきを含めた機会（活動）を生徒の自己肯定感、やる気につながる活動を創出していきたい。

2～3頁は、1頁の内容に達成指標を加えたものである。

質問〈A委員〉

・1頁の気概の涵養について、具体的に説明願いたい。

回答〈学校から〉

・おおげさに聞こえるかも知れないが、生徒の挑戦する気持ちを示した。今年度は、岩手県障がい者スポーツ大会への出場者が昨年度より多かった。また、高総体や囲碁将棋の大会、高文連への絵画、写真の出展への意欲的な参加を促したい。併せて、教職員の新しい授業の取り組み、アイデア、各関係機関とのつながりを求めていきたい。また、それが生徒のやる気につながる。

意見〈A委員〉

・新しいアイデアは、生徒のやる気につながると思う。また、機会の創出について、創出することはおおげさではなく大切だと思う

(2) 報告

①令和5年度学校概要について・・・・・・・・・・資料のとおり

質問〈 E 委員 〉

・生徒数（入学生）が減少している。見学数は多いようだが、何か理由はあるのか。

回答〈 学校から 〉

・中学校の特別支援学級から普通高校への進学は増加傾向にある。また、地域（例えば二戸）の支援学校への進学も一つの要因と思われる。

意見〈 A 委員 〉

・私学の受け入れが多くなっていると感じる。中学校では、選択の幅が広がったと捉えて本人、保護者と話し合っている。峰南の授業の強み、卒後支援や普通高校の授業内容や普通高校卒の支援について、保護者への説明、理解が必要と思う。

意見〈 E 委員 〉

・卒後支援は大切だと感じている。

意見〈 B 委員 〉

・普通高校や専門学校から相談がある。卒後の支援体制は、支援学校とは異なる状況である。

意見〈 D 委員 〉

・普通高校からの相談や生徒の受け入れがある。個々のニーズに応じていく必要がある。

②令和5年度具体的方策に関する数値目標について・・・・・・・・・・資料のとおり

質問〈 F 委員 〉

・5頁の令和4年度に減少（▲）が多く見受けられる。なぜか。

回答〈 学校から 〉

・定着率92%について、令和4年度は2名の離職者があった。そのための減少である。

③令和5年度主な行事について・・・・・・・・・・資料のとおり

④令和5年度いじめ防止基本方針・・・・・・・・・・資料のとおり

⑤令和4年度卒業生進路状況について

質問〈 E 委員 〉

・今年度の求人の状況はどうか。

回答〈 学校から 〉

・製造業他、企業・ハローワークから（求人の）声をかけ、紹介を受けている。

意見〈 B 委員 〉

・以前よりも、（求人数が）多い傾向にあると感じている。

⑥令和4年度特別支援教育センター業務状況について・・・・・・・・・・資料のとおり

6 委員から

〈 A 委員 〉

・令和5年度の学校経営方針に沿って順調に進んでいると思う。生徒数の減少は社会状況様々な要因があると思うが、峰南へのニーズはあると思うので、（峰南では）芯をとおして、プライドをもち、生徒、職員のチャレンジする気持ちも大切に取り組んでいただきたい。

〈 B 委員 〉

・他校の支援学校よりも卒後支援が広域であると思う。各圏域のコミュニティとのつながりが重要だと感じている。また、経営方針のなかにある職員の働き方改革について、支援の充実を進めつつ、業務の効率化により職員の負担軽減につながればと感じた。

〈 D 委員 〉

・A委員と同じく、峰南へのニーズを忘れず取り組んでもらいたい。また、教育相談におけるニーズの把握を重点に据えて、卒後の道筋づくりにつなげてほしい。

〈 E 委員 〉

・就労後の支援の大切さを身をもって感じている。これまでも、これからも充実させながら今後も生徒にあった指導を願いたい。

〈 F 委員 〉

・(授業参観時、生徒に)緊張感が強かったと思う。もう少し和やかなところがあってもよいと感じた。

回答 〈 学校から 〉

・午後の授業での、生徒の様子は、もう少しやわらかい様子みていただければと思う。

〈 学校から 〉

・いただいたご意見、応援を励みにして一年間取り組んでいきたい。

7 閉会